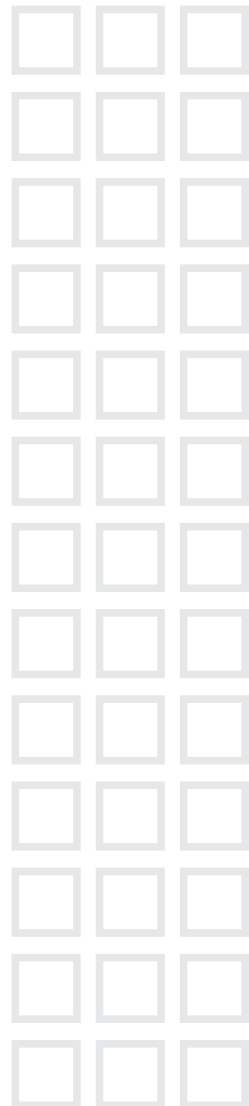


第 1 章

新市のすがた



1 新市の概要

新「一宮市」は、日本のほぼ中央に位置する愛知県の北西部にあり、濃尾平野のほぼ中央、名古屋市と岐阜市の中に位置し、木曾の清流と温和な気候、風土に恵まれた平坦地となっている。

北東から、南西にかけては、延長約18kmにわたって木曾川に接している。

東西方向の延長約15.3km、南北方向の延長約13.3km、面積は、113.91km²の都市である。



市内には、名神高速道路及び東海北陸自動車道のインターチェンジが4か所あり、また、鉄道においても、JR東海道本線及び名鉄名古屋本線が市の中央を南北に走るなど、市域内に18の駅を擁している。

近年では、名古屋まで10分程度という交通至便の位置にあることから、急速に名古屋の副都心的役割を示してきている。

◆概略

位 置 (一宮市本町2丁目5番6号)

北緯 35度18分14秒

東経 136度48分8秒

面 積 113.91km²

一 宮 市 82.39km²

尾 西 市 22.01km²

木 曾 川 町 9.51km²



人 口 （平成17年4月1日住民基本台帳人口及び外国人登録人口）

	新 市	一 宮 市	尾 西 市	木曾川町
人 口	377,216 人	285,550 人	59,193 人	32,473 人
男	185,091 人	140,189 人	28,915 人	15,987 人
女	192,125 人	145,361 人	30,278 人	16,486 人
世 帯 数	133,401 世帯	102,003 世帯	20,107 世帯	11,291 世帯

2 2市1町の歴史及び沿革

(1) 一宮市の歴史

一宮市の市名は平安時代の初め、国司がその国の神社を参拝して回るときに最初に出かける神社を「一の宮」といい、尾張の国の「一の宮」が真清田神社であったことから、その門前町であるこの地域が、いつしか「いちのみや」と呼ばれるようになったことに由来している。

明治22年に一色村と合併して一宮町となり、大正10年9月1日市制施行により、一宮市が誕生した。昭和15年に葉栗村及び西成村と合併し、昭和30年には近隣8町村（丹陽村、浅井町、北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村）と合併した。

一宮市は木曾の清流と豊かな濃尾平野に生まれ、伝統ある繊維のまちとして栄え、世界最大規模のテキスタイル産地の中心として発展してきた。近年では、名神高速道路、東海北陸自動車道など、国土の東西軸、南北軸の結節点という広域交流の優位性を活かし、積極的な企業誘致による産業の複合化を進めるとともに、高次な都市機能の集積を図るなど、愛知県西部の中核的都市として、産業、経済、文化など様々な面で重要な役割を担っていくことが期待されている。

(2) 尾西市の歴史

尾西市の市名は古くからこの地方一帯を示す言葉で、毛織物のまちとして尾西（尾張西部）地方が著名であったこと、また、市の中心的産業の飛躍を願ったことに由来している。

尾西市の前身である起町は明治29年に町制を施行し、明治39年5月10日に従来の起町に小信中島、大徳（富田、北今、東五城、西五城の四大字）、三條の隣村を合併した。朝日村については明治39年5月10日町村合併により中島郡明地村、玉野村、上祖父江村、祐賀村を廃し、これと中島郡大徳村の内、大字蓮池、西萩原とが加わった。昭和30年1月に起町と朝日村が合併し市制を施行、同年4月に今伊勢町の一部を編入した。

尾西市は毛織物のまちとして、永年にわたり蓄積された織物技術を基盤に発展してきた。最近では、社会経済の変化に対応し、付加価値を高めるための先進技術の導入、伝統技術の継承、人材育成などが進められていた。また、近年開通した東海北陸自動車道尾西ICは、市の新たな発展、活性化に向けた起爆剤として期待されており、ゆとりある住環境と活力ある産業の調和のとれた地域としての発展を目指していた。

(3) 木曾川町の歴史

木曾川町の町名は町内にある当時の官設鉄道の駅名が木曾川駅であり、岐阜県との県境とに流れる全国的に著名な河川である木曾川に由来する。

明治39年5月10日に黒田町（曾根を除く）、玉ノ井村、里小牧村が合併して木曾川町の前身が誕生し、明治43年2月10日に町名を木曾川町と改めた。

木曾川町も一宮市、尾西市同様、織物の町として発展してきた。また、近年では、JR、名鉄の4つの鉄道駅や、国道22号、東海北陸自動車道一宮木曾川ICなどの地域内外の交通利便性を生かし、時代の変化をとらえた新しい産業の発展や、豊かな住環境づくりを目指していた。

(4) 2市1町の沿革

郡	明治								大正	昭和			平成	
	初年	11年	22年	27年	29年	32年	39年	41年	10年	16年	26年	30年	17年	
中島郡	一宮村		一宮町 明治22. 10. 1					一宮市 大正10. 9. 1						
	一色村													
	奥村			奥町 明治27. 9. 13										
	中島村	中島村 (一部) 明治22. 10. 1												
	西御堂村													
	東宮重村													
	西宮重村													
	高木村	新明村 明治22. 10. 1												
	林野村													
	河田方村													
	朝宮村													
	二子村	萩原村 明治11. 12. 28					萩原町 明治39. 5. 10							
	西ノ川村													
	萩原村													萩原村 明治22. 10. 1
	串作村													
	滝村													
	高松村													
	戸苧村													
	築込村													
	富田方村	日光村 明治22. 10. 1					萩原町 明治39. 5. 10							
	花井方村													
	福森村													
	毛受村													
	馬引村													
	菊安賀村													
	宮地花池村	三輪村 明治22. 10. 1					菊安賀村 明治39. 5. 10	大和村 明治41. 5. 1		大和町 昭和26. 3. 1				
戸塚村														
妙興寺村	妙興寺村 明治22. 10. 1													
氏永村														
北高井村	高井村 明治22. 10. 1													
南高井村														
於保村	稲保村 (一部) 明治22. 10. 1													
一宮市 昭和30. 4. 1														
一宮市 平成17. 4. 1														

郡	明治					昭和		平成		
	初年	11年	22年	26年	29年	39年	15年	30年	17年	
丹羽郡	加納馬場村		幼村（一部） 明治22. 10. 1			千秋村 明治39. 5. 1	一宮市 昭和30. 4. 7			
	芝原村									
	浅野羽根村		豊富村 明治22. 10. 1							
	塩尻村									
	小山村									
	町屋村									
	天摩村		青木村 明治22. 10. 1							
	佐野村									
	穂積塚本村									
	勝栗村		浮野村 明治22. 10. 1							
	一色村									
	浮野村									
	熊代村	加茂村 明治11. 12. 28								
	花地村									
	九日市場村									
	五日市場村		二川村 明治22. 10. 1			丹陽村 明治39. 7. 1	一宮市 昭和30. 1. 1			
	伝法寺村									
	外崎村		三重島村 明治22. 10. 1							
	平島村									
	重吉村									
	三ツ井村									
	吾鬘村		多加森村 明治22. 10. 1							
	森本村									
	多加木村									
	猿海道村									
	馬見塚村									
	浅野村		浅淵村 明治22. 10. 1							
	南小淵村									
	北小淵村									
	小赤見村		赤羽村 明治22. 10. 1							
	柚木風村									
	大赤見村									
	丹羽村									
	定水寺村		穂波村 明治22. 10. 1							
下奈良村	春明村 明治11. 12. 28									
下奈良西新田										
西大海道村										
時之島村										
瀬部村		豊原村（一部） 明治22. 10. 1	豊原村 明治26. 11. 18	瀬部村 明治29. 11. 30		西成村 明治39. 7. 1	一宮市 昭和15. 9. 20			

郡	明治						大正	昭和		平成	
	初年	22年	27年	33年	39年	43年	10年	15年	30年	17年	
葉栗郡	里小牧村										
	玉ノ井村										
	黒田村	黒田村 明治22. 10. 1	黒田町 明治27. 12. 27		黒田町 明治39. 5. 10			木曽川町 明治43. 2. 10			
	門間村										
	内割田村										
	外割田村										
	三ッ法寺村										
	曾根村										
	北方村	北方村 明治22. 10. 1		北方村 明治39. 5. 10			一宮市 昭和30. 4. 1				
	中島村										
	黒岩村	瑞穂村 明治22. 10. 1			浅井町 明治39. 5. 10			一宮市 昭和30. 1. 1			
	大野村										
	極楽寺村										
	尾関村										
	河田村										
	前野村										
	大日比野村	浅井村 明治22. 10. 1		浅井町 明治33. 7. 9							
	小日比野村										
	河端村										
	西海戸村										
	江森村										
	西浅井村										
	東浅井村										
	高田村	大田島村 明治22. 10. 1			葉栗村 明治39. 5. 10			一宮市 昭和15. 8. 1			
	島村										
	杉山村										
	大毛村										
	笹野村	光明寺村 明治22. 10. 1									
	光明寺村										
	田所村										
更屋敷村											
佐千原村	佐千原村 明治22. 10. 1										
富塚村											

郡	明治						昭和		平成	
	初年	11年	20年	22年	29年	32年	39年	16年	30年	17年
中島郡	馬寄村						今伊勢村 明治39. 5. 10	今伊勢町 昭和16. 5. 10	一宮市 昭和30. 4. 1	尾西市 昭和30. 4. 1
	本神戸村		神戸村 明治22. 10. 1		神戸村 明治32. 8. 21					
	新神戸村									
	宮後村		開明村 明治22. 10. 1		開明村 明治32. 8. 21					
	野府村	開明村 明治11. 12. 28								
	小原村									
	祐久村		祐賀村 明治22. 10. 1				朝日村 明治39. 5. 10	一宮市 平成17. 4. 1		
	東加賀野井村 明治20. 7 岐阜県から編入									
	上祖父江村									
	西中野村 明治20. 7 一部岐阜県に編入		上祖父江村 明治22. 10. 1							
	阿古井村	明地村 明治11. 12. 28							尾西市 昭和30. 1. 1	
	吉藤村									
	玉野村						起町 明治39. 5. 10			
	西萩原村		大徳村 明治22. 10. 1							
	蓮池村									
	北今村									
	東五城村									
	西五城村									
	富田村									
	起村				起町 明治29. 2. 24					
	小信中島村						三條村 明治22. 10. 1			
宮新田										
板倉新田										
荻安賀新田										

※町村名の後に（一部）とあるのは、その一部のみが現在の市域内に含まれることを示す。

- [参考] 中島村（木全・石橋・中島・西御堂・東宮重）
 稲保村（於保・稲島）
 幼村（八剣・井上・石仏・神野・加納馬場・芝原）
 豊原村（瀬部・島宮・上奈良）

（下線は市域内）

(5) 合併関係市町の現況表

区分		一宮市	尾西市	木曾川町	計(新市)	時点等
人口	国勢調査 (人)	273,711	57,956	31,059	362,726	平成12年10月1日現在
	現在 (人)	283,079	59,006	32,314	374,399	平成16年4月1日現在
1km ² 当たり人口 (人)		3,322.1	2,633.2	3,265.9	3,184.3	平成12年10月1日現在
世帯	国勢調査 (世帯)	89,984	18,122	9,975	118,081	平成12年10月1日現在
	現在 (世帯)	98,013	19,894	11,033	128,940	平成16年4月1日現在
人口増加率 (%)		2.4	1.5	5.2	2.5	平成12年/平成7年
区域	面積 (km ²)	82.39	22.01	9.51	113.91	平成15年10月1日現在
	東西 (km)	12.4	約4	4.2	20.6	
	南北 (km)	13.2	約7	2.2	22.4	
業態別生業人口の割合	商工業等 (人)	239,443	51,908	28,317	319,668	平成12年10月1日現在
	都市的業態計 (人)	239,443	51,908	28,317	319,668	
	全人口に対する割合 (%)	87.5	89.6	91.2	88.1	
	農林漁業 (人)	1,302	357	70	1,729	
	その他の業態計 (人)	32,966	5,691	2,672	41,329	
	全人口に対する割合 (%)	12.5	10.4	8.8	11.9	
保健衛生施設	上水道等普及率 (%)	100.0	98.8	98.9	99.7	平成15年3月31日現在 ※平成16年度一部供用開始
	下水道	3	—*	—*	3	
	病院	11	3	2	16	
	診療所	294	66	24	384	
	し尿・ごみ処理	2	2	—	4	
	保健センター	1	1	1	3	
文化施設	図書館	1	2	1	4	平成15年3月31日現在
	美術館・博物館	1	3	—	4	
	公会堂	1	1	—	2	
	総合運動場	1	1	—	2	
	公園	107	7	1	115	
	体育施設	15	4	3	22	
学校	小学校	32	7	3	42	平成15年5月1日現在
	中学校	16	3	1	20	
	高等学校	9	3	—	12	
	大学・短大	1	—	—	1	
官公署	官署	41	7	3	51	平成16年6月
	県の公署	32	5	2	39	
生産額等	総生産額 (百万円)	795,899	123,712	52,653	972,264	平成13年度
	農業産出額 (百万円)	5,492	866	402	6,760	平成13年
	製造品出荷額等 (百万円)	459,069	167,225	22,908	649,202	平成14年
	年間商品販売額 (百万円)	790,257	90,511	37,334	918,102	平成13年度

※廃置分合申請書の資料から引用